

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-01		
施設名	ふるさと文化館				
所在地	南千住六丁目63番1号（南千住図書館併設）				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成9年	3,600,000	国・都	0
	増改築①			区債	0
	増改築②			一般財源	3,600,000
併設施設					
竣工年月日	平成10年5月1日		区職員	11	
供用開始年月日	平成10年5月1日		職員数	11	
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上4階、地下1階	
面積	敷地面積		2,724 m ²		
	延床面積		2,585 m ²		
設置目的・経緯	区民の生涯学習の振興並びに荒川区における教育、学術及び文化の発展に寄与するため				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立荒川ふるさと文化館条例				
駐車場の状況	8台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	①荒川区の考古、歴史、民俗等資料の収集及び保存②常設展示及び特別展示事業（企画展等）③資料の専門的な調査研究④文化財の保存及び活用⑤郷土学習のレファレンス（資料紹介や学習アドバイス、団体見学対応等）⑥教育、学術及び文化の振興に関する事業（各種講座）⑦伝統技術の保護と育成（あらかわ学校職人教室、伝統技術展、荒川区伝統工芸技術継承者育成事業、伝統工芸ギャラリーの運営等）					
対象者	区民全般・荒川ふるさと文化館利用者等					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）				
	休日	月曜日（祝日、振替休日の場合は翌日）、毎月第2木曜日、年末年始（12月29日～1月4日）、館内整理日				
施設基本データ等	観覧者数（有料）（人）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込み）
	観覧者数（無料）（人）	3,086	1,386	1,956	2,022	3,000
	観覧者 合計（人）	14,409	10,082	10,231	7,761	11,000
	伝統工芸ギャラリー入場者（人）	17,495	11,468	12,206	9,783	14,000
	伝統工芸ギャラリー入場者（人）	20,085	14,178	14,516	16,040	18,000
	視聴覚室（件）	13	3	6	14	15
	研修室（件）	29	9	17	15	15
	開館日数（日）	259	204	231	283	293
に指定管理に係る費用等						
備考	郷土学習室を平成28年度末でリニューアルし、あらかわ伝統工芸ギャラリーを平成29年度5月に開設。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月29日より休館。6月にギャラリー展示等を、7月に常設展示を再開した。感染症拡大防止のため令和3年4月28日から5月31日まで閉館。改修工事等のため、令和4年12月19日から5年3月31日まで休館					

III 財務諸表

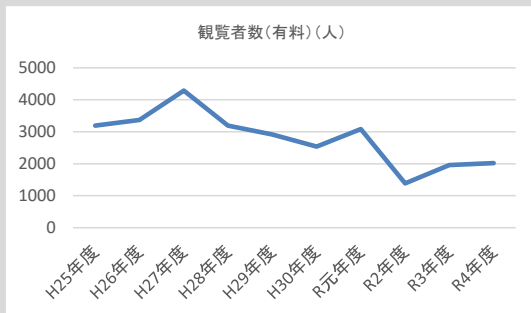
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	
	R3年度	R4年度	差額				R3年度	R4年度	差額				
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	55,063	59,845	4,782	地方税等	0	0	0	0	0		
		物件費	50,981	74,655	23,674	国庫支出金	1,579	1,569	▲10				
		維持補修費	18,615	13,251	▲5,364	都支支出金	2,369	750	▲1,619				
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0				
		補助費等	8,795	9,068	273	使用料及び手数料	253	228	▲25				
		減価償却費	40,414	40,818	404	その他	499	389	▲110				
		不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,700	2,936	▲1,764				
		賞与・退職給与引当金繰入額	3,455	4,434	979	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲172,623	▲199,135	▲26,512				
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0				
		行政費用合計(b)	177,323	202,071	24,748	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲172,623	▲199,135	▲26,512				
特別費用(g)	2,734	0	▲2,734	特別収入(f)	0	0	0						
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲2,734	0	2,734	当期収支差額(e)+(h)	▲175,357	▲199,135	▲23,778						
貸借対照表	固定資産	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
		収入未済	0	69	69	流動負債	2,267	2,415	148				
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0				
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0				
		有形固定資産	531,566	490,837	▲40,729	賞与引当金	2,267	2,415	148				
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0				
		建物	1,497,414	1,497,414	0	固定負債	21,125	23,998	2,873				
		建物減価償却累計額	▲965,848	▲1,006,577	▲40,729	特別区債	0	0	0				
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	21,125	23,998	2,873				
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0				
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	23,392	26,413	3,021						
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	752,908	713,540	▲39,368						
その他の固定資産	244,734	249,047	4,313	正味財産の部合計	752,908	713,540	▲39,368						
資産の部合計	776,300	739,953	▲36,347	負債及び正味財産の部合計	776,300	739,953	▲36,347						
備考	行政費用では、R4年度は伝統技術展を実施したため、物件費が増加した。また、維持補修費及び有形固定資産（建物）については、令和3年度に防火設備改修工事が終了したため、減少している。行政収入は、国庫支出金、都支出金の他、使用料及び手数料としてふるさと文化館入館料等、その他収入として有償頒布物代金がある。												

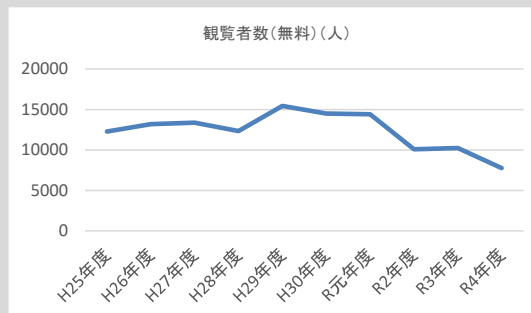
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	59	62.0	65	67.2	
	1㎡当たりコスト(円)	85,484	64,392	68,608	78,183	
	来館者1人当たりコスト(円)	11,000	8,233	12,215	12,597	
	開館一日当たりコスト(円)	853,058	572,235	767,632	714,031	
備考	前年度と比較して1㎡当たりのコストや来館者一人当たりのコストが増加したのは、主に行政コストの増加(主に伝統技術展を実施)したことなどによる。開館一日当たりのコストが減少したのは、これは行政費用の物件費等が増加した以上に、開館日数が増加したことによる。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	観覧者数(人)	目標値 20,000	13,500	15,000	15,000	18,000
	実績値	17,495	14,178	14,516	16,040	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○開設後25年が経過し、空調設備、照明設備、給排水設備等の老朽化が著しいため、改修工事を早急に実施する必要がある。 ○改修工事にあわせて、社会環境や利用者のニーズの変化を踏まえ、展示室等のリニューアルを検討する必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○空調設備、照明設備、給排水設備等の改修工事にあわせて、展示室等のリニューアルを検討するとともに、HPやSNS等を活用して周知するだけでなく、ウェブ上でも一定の情報が得られるよう内容を充実する。					
議会、利用者等からの意見	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年2月予特、9月決特 ふるさと文化館の名称変更等について 平成29年2月決特 伝統工芸ギャラリーについて 平成29年9月決特 ふるさと文化館の名称変更、施設の位置付け等について 令和3年9月会議 区制100周年に向けた、荒川ふるさと文化館の活用について 					



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉館し、観覧者数(有料)が減少した。4年度は特定天井撤去工事に伴い3ヶ月余り休館した。



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉館し、観覧者数(無料)が減少した。4年度は特定天井撤去工事に伴い3ヶ月余り休館した。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-02		
施設名	生涯学習センター				
所在地	荒川三丁目49番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和45年			
	増改築①	平成8年	303,300		
増改築②					
併設施設	教育センター				
竣工年月日	昭和45年		区職員	その他	
供用開始年月日	平成9年		職員数	8	15
構造	R C造		階層	4階	
面積	敷地面積	6,766.09 m ²			
	延床面積	2,970.35 (4530.36m ² のうち) m ²			
設置目的・経緯	区民の生涯にわたる学習の場の提供や講座の開催、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。				
関連部署	文化交流推進課、教育委員会事務局教育センター、福祉部高齢者福祉課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立生涯学習センター条例・施行規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	50台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
				-	まで	
事業内容	一般教養講座(区民カレッジ)、専修学校連携講座、学習・地域活動に関する相談支援、生涯学習情報提供					
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者等					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	利用者数(人)	138,933	66,259	91,925	100,336	137,000
	利用件数(件)	7,119	4,362	7,144	6,751	7,000
	区民カレッジ講座数	74	58	62	56	44
	区民カレッジ受講者数	3,226	1,823	2,600	2,440	2,190
	I T講習会参加者数	731	589	641	692	-
	I T自習室参加者数	966	418	640	769	-
貸室稼働率	63	41	63	59	65	
に指定管理 等管理 費	指定管理料(千円)	67,472	68,742	65,412	62,056	-
	指定管理者の支出合計(千円)	62,613	60,216	58,345	60,935	-
	指定管理者の人件費(千円)	19,351	19,608	19,189	21,330	-
	指定管理者の利用料金収入(千円)	1,988	1,448	2,107	1,140	-
備考	令和3年度は新型コロナウイルスワクチン接種会場として活用された。令和4年度は事業も再開されたが、制限ある中、若干利用率が減少している。また、区民カレッジ等各種講座については、感染対策をとりつつ実施したことにより、受講者数が回復傾向にある。					

III 財務諸表

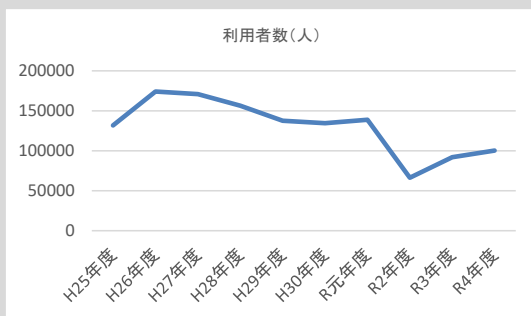
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額				
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0		
	物件費	69,450	73,890	4,440	0	0	国庫支出金	0	0	0	0		
	維持補修費	0	4,755	4,755	0	0	都支支出金	0	0	0	0		
	扶助費	0	0	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0		
	補助費等	48	48	0	0	0	使用料及び手数料	19	19	0	0		
	減価償却費	2,378	2,378	0	0	0	その他	5,697	499	▲ 5,198	▲ 5,198		
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	行政収入合計(a)	5,716	518	▲ 5,198	▲ 5,198		
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 66,160	▲ 80,553	▲ 14,393	▲ 14,393		
	その他行政費用	0	0	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 3	▲ 4	▲ 1	▲ 1		
	行政費用合計(b)	71,876	81,071	9,195	0	0	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 66,163	▲ 80,557	▲ 14,394	▲ 14,394		
特別費用(g)	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 66,163	▲ 80,557	▲ 14,394	▲ 14,394			
貸借対照表	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	4,552	5,825	1,273	1,273		
		不納欠損引当金	0	0	0	0		還付未済金	0	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	0		特別区債	0	1,273	1,273	1,273	
	固定資産	有形固定資産	49,931	48,996	▲ 935	0	0	賞与引当金	0	0	0	0	
			土地	35,226	35,226	0	0	その他の流動負債	4,552	4,552	0	0	
			建物	183,944	183,944	0	0	固定負債	16,648	10,824	▲ 5,824	▲ 5,824	
			建物減価償却累計額	▲ 171,603	▲ 172,489	▲ 886	0		特別区債	10,200	8,927	▲ 1,273	▲ 1,273
			工作物等	20,213	20,213	0	0		退職給与引当金	0	0	0	0
			工作物等減価償却累計額	▲ 17,848	▲ 17,897	▲ 49	0		その他の固定負債	6,448	1,897	▲ 4,551	▲ 4,551
		無形固定資産	0	0	0	0	負債の部合計	21,200	16,649	▲ 4,551	▲ 4,551		
		建設仮勘定	0	0	0	0	正味財産	52,003	54,175	2,172	2,172		
		その他の固定資産	23,272	21,828	▲ 1,444	0	正味財産の部合計	52,003	54,175	2,172	2,172		
	資産の部合計	73,203	70,824	▲ 2,379	0	負債及び正味財産の部合計	73,203	70,824	▲ 2,379	▲ 2,379			
備考	行政費用では、指定管理料60,422千円を含む物件費が多くかかっている。物件費には指定管理料のほか、4年度には5年度からの直営化に向けたキッズスペース等の備品購入費926千円を含んでいる。維持補修費には、多目的室増設のための改修工事費3,850千円等が含まれている。												

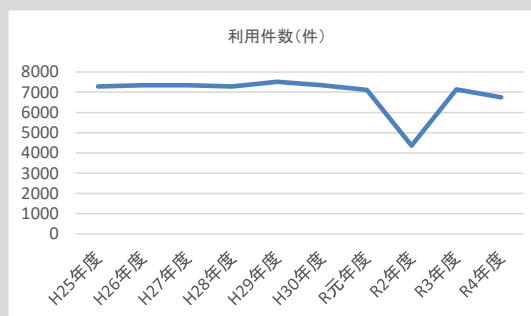
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	92	93	93.3	
	1㎡当たりコスト(円)	16,087	19,741	15,865	17,895	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	31	33	33	35.0	
	開館1日当たりコスト(円)	204,713	251,219	201,899	227,728	
	利用者1人当たりコスト(円)	524	1,350	782	808	
	区民1人当たりコスト(円)	340	417	335	378	
	受益者負担比率(%)	3	2	3	1.4	
備考	令和4年度には5年度からの直営化に向けた備品購入や改修工事を行ったことから、工事が無かった令和3年度に比べて利用者一人当たりのコスト等が増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	利用件数	目標値 7,500	6,000	6,400	6,000	7,000
		実績値 7,119	4,362	7,144	6,751	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ○ 現状維持 ● その他(令和5年度より直営化)					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成15年度 直営 平成16・17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	区民の生涯学習活動の拠点施設として、生涯学習を推進していく必要性は高い。					
現状・課題	○利用者の満足度向上のため、更なる接遇の向上に徹底して取り組んでいく必要がある。 ○給排水設備、空調設備など老朽化した設備を計画的に修繕する必要がある。 ○区の生涯学習の拠点として様々な生涯学習講座を実施するとともに、地域を支える人材を育成するため、講座内容やサービスを見直す必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○各委託業者と情報共有を細めに行い、利用者が満足できるよう更なる接遇の向上に努める。 ○老朽化した空調設備の更新など、利用者がより安心して快適に利用できる施設環境を整える。 ○区の生涯学習の拠点として、あらゆる区民が主体的に学習できる環境を整備する。学びを通じて仲間や地域社会と繋がり、自己実現を図れるような学習機会を提供するとともに、地域の担い手育成を目指した講座を実施する。					
議会、利用者等からの意見	平成29年度 11月会議 「体育館への空調設置について」 平成30年度 9,11月会議 「体育館への空調設置について」 令和元年度 決特 「コンピューター室におけるPCの性能について」 令和3年度 予特 「生涯学習センターの機能再編について」					



R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響による施設の一部利用制限が無くなり、利用者数が回復傾向にある。



R4年度はR3年度の新型コロナウイルスワクチン接種会場が無くなったことで、利用件数が微減している。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-03		
施設名	町屋文化センター				
所在地	荒川区荒川七丁目20番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	昭和三十九年	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和三十九年九月三十日		区職員	0	その他
供用開始年月日	昭和三十九年十一月一日		職員数	0	25
構造	鉄骨鉄筋コンクリート		階層	3階	
面積	敷地面積	4,137.28 m ²			
	延床面積	2,400 m ²			
設置目的・経緯	多くの区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯教育の推進と地域文化の振興を図る。				
関連部署	文化交流推進課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立町屋文化センター条例、同施行規則、荒川区立町屋文化センターの使用の予約に係る手続き等に関する要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	文化・カルチャー講座、自主事業（一日文化体験・なないろひろば）等					
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者等					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、年3回の保守点検日				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込み）
	貸室利用者数（人）	158,924	77,944	105,176	86,572	95,000
	貸室利用件数（件）	5,973	3,859	4,709	4,318	4,700
	貸室ホール稼働率（%）	69	58	61	50	55
	カルチャー講座数（講座）	654	504	531	230	250
	カルチャー講座受講者数（人）	3,879	2,901	2,961	1,544	1,700
	指定管理料（千円）	25,116	31,269	31,542	29,492	43,166
に指定管理に係る費用	指定管理者の支出合計（千円）	37,054	37,373	40,497	40,627	54,266
	指定管理者の人件費（千円）	3,659	3,841	10,430	20,091	4,557
	指定管理者の利用料金収入（千円）	13,025	6,955	8,997	10,818	11,000
備考	令和4年度はカルチャー講座の実施事業者の撤退の影響により、カルチャー講座数、受講者数が大幅に減少した。それに伴い貸室利用者数等も減少した。また、これまで同事業者に再委託していた受付業務等について、臨時職員を直接雇用し、実施したことから人件費が大幅に増加した。					

III 財務諸表

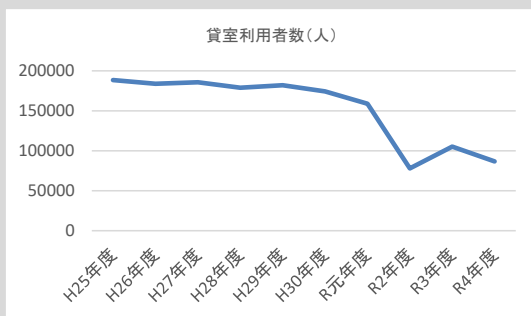
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	0
	物件費	34,384	32,026	▲ 2,358	行政収入	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0		都支支出金	0	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	0	0	
	補助費等	15,068	16,324	1,256		使用料及び手数料	0	0	0	0	0	
	減価償却費	18,096	22,997	4,901		その他	3,822	736	▲ 3,086			
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,822	736	▲ 3,086			
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 63,726	▲ 70,611	▲ 6,885			
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	67,548	71,347	3,799		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 63,726	▲ 70,611	▲ 6,885			
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 63,726	▲ 70,611	▲ 6,885			
貸借対照表	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	854,776	869,835	15,059	賞与引当金	0	0	0	0	0	0
		土地	657,907	657,907	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	0
		建物	794,028	831,887	37,859	固定負債	0	0	0	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 597,159	▲ 619,959	▲ 22,800	特別区債	0	0	0	0	0	0
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0	0
無形固定資産		0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0	0	0	
建設仮勘定	27,200	0	▲ 27,200	正味財産	883,551	871,213	▲ 12,338					
その他の固定資産	1,575	1,378	▲ 197	正味財産の部合計	883,551	871,213	▲ 12,338					
資産の部合計	883,551	871,213	▲ 12,338	負債及び正味財産の部合計	883,551	871,213	▲ 12,338					
備考	4年度は、物件費として指定管理料の他、Wi-Fi導入に係る経費及びピアノラッピング委託等の費用が増となっている。また電気・水道料金に係る収入が736千円あった。固定資産では、有形固定資産として、事故繰越となったリニューアル改修工事の一部（電気設備工事）に係る費用37,859千円が増加した。											

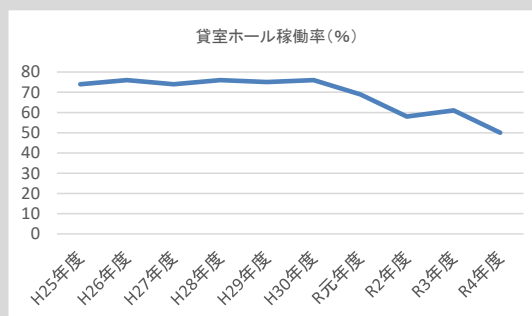
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	84	86	75	74.5	
	1㎡当たりコスト(円)	24,683	26,910	28,145	29,728	
	人にかかるコストの割合(%)	10	10	26	49	
	開館1日当たりコスト(円)	16,640	18,142	18,974	20,041	
	利用者1人当たりコスト(円)	373	829	642	824	
	区民1人当たりコスト(円)	276	301	315	332	
	受益者負担比率(%)	18	7	8	9.7	
備考	令和4年度は再委託していた受付業務について、臨時職員を直接雇用し実施したため、人件費が増加し、人にかかるコストの割合が増加した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	利用者数(人)	目標値 180,000	122,000	128,800	84,700	66,500
		実績値 158,924	77,944	105,176	86,572	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	生涯学習等の情報の収集、芸術文化の鑑賞、地域社会での交流					
現状・課題	①リニューアル工事の対象となっていない設備は老朽化が進んでいる状況である。 ②カルチャー講座において、利用者数の増加を図る必要がある。					
課題に対する現時点での考え	①不具合が生じている設備について、施設の安全性と利便性を高めるため、計画的に修繕を実施していく。 ②カルチャー講座の実施事業者が新たな客層を取り込める講座を展開できるように、指定管理者と支援していく。					
議会、利用者等からの意見	平成30年度11月会議 町屋文化センターの改修について 平成30年度2月会議 町屋文化センターのリニューアル状況の検討について 令和元年度決特 町屋文化センターリニューアルの進捗状況について 令和3年度予特 町屋文化センターリニューアルについて					



令和4年度は新型コロナウイルス感染症やカルチャー講座の実施事業者の撤退の影響により、元年度以前より貸室利用者数が減少している。



令和4年度は新型コロナウイルス感染症やカルチャー講座の実施事業者の撤退の影響により、元年度以前より貸室稼働率が低下している。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-04	
施設名	清里高原ロッジ及び清里高原少年自然の家			
所在地	山梨県北杜市高根町清里3545番5			
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)	
	建築	810,551	国・都	0
	増改築①		区債	610,988
	増改築②		一般財源	
併設施設				
竣工年月日	昭和58年4月15日		区職員	その他
供用開始年月日	昭和58年4月15日	職員数	0	10
構造	RC造	階層	2階	
面積	敷地面積	32,322㎡		
	延床面積	3,999.96㎡		
設置目的・経緯	区民の健康増進、青少年の健全育成			
関連部署	指導室、学務課			
根拠法令等 設置条例	荒川区立清里高原ロッジ条例、荒川区立清里高原少年自然の家条例、両条例施行規則			
駐車場の状況	約20台	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株)ニッコトラスト	期間	令和5年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	移動教室等の宿泊事業、一般団体及び社会教育関係団体の宿泊、指定管理者自主事業等					
対象者	荒川区内及び山梨県北杜市に在住、在勤、在学者等					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	11月上旬～4月下旬				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	一般利用者(人)	2,857	312	692	1,948	2,450
	学校利用者(人)	5,661	0	1,602	5,729	5,635
	合計(人)	8,518	312	2,294	7,677	8,085
	施設稼働率(%)	26	4	13	31	32
	開所日数	260	127	213	192	191
に指定管理 等に係る 費用	指定管理料(千円)	57,091	60,079	74,661	77,292	74,223
	指定管理者の支出合計(千円)	88,357	61,617	81,196	95,005	93,002
	指定管理者の人件費(千円)	22,757	22,037	24,907	23,555	21,442
	指定管理者の利用料金収入(千円)	22,512	1,206	6,471	20,167	22,084
備考	令和2及び3年度で一般利用者数及び学校利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少した。令和4年度は利用制限が緩和されたことに伴い、感染拡大前の令和元年度の実績までほぼ回復している。					

III 財務諸表

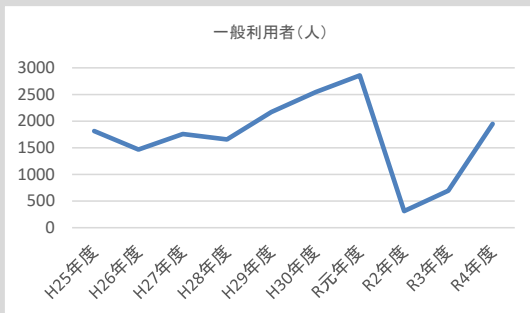
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
	物件費	98,053	121,521	23,468	0	0	国庫支出金	0	0	0	0	
	維持補修費	0	2,013	2,013	0	0	都支支出金	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	
	補助費等	0	128	128	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	0	
	減価償却費	8,315	6,249	▲ 2,066	2,592	5,166	2,574	その他	2,592	5,166	2,574	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	2,592	5,166	2,574	行政収入合計(a)	2,592	5,166	2,574	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	▲ 103,776	▲ 124,745	▲ 20,969	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 103,776	▲ 124,745	▲ 20,969	
	その他行政費用	0	0	0	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	106,368	129,911	23,543	▲ 103,776	▲ 124,745	▲ 20,969	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 103,776	▲ 124,745	▲ 20,969	
特別費用(g)	0	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	▲ 103,776	▲ 124,745	▲ 20,969	当期収支差額(e)+(h)	▲ 103,776	▲ 124,745	▲ 20,969		
貸借対照表	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	105,455	99,607	▲ 5,848	0	0	賞与引当金	0	0	0	
			土地	0	0	0	0		その他の流動負債	0	0	0
			建物	964,287	964,287	0	0	0	固定負債	0	0	0
			建物減価償却累計額	▲ 858,832	▲ 864,680	▲ 5,848	0	0		特別区債	0	0
			工作物等	94,259	94,259	0	0	0		退職給与引当金	0	0
			工作物等減価償却累計額	▲ 94,259	▲ 94,259	0	0	0		その他の固定負債	0	0
	無形固定資産	0	0	0	0	0		負債の部合計	0	0		
	建設仮勘定	0	0	0	0	0	正味財産	105,856	99,607	▲ 6,249		
	その他の固定資産	401	0	▲ 401	0	0	正味財産の部合計	105,856	99,607	▲ 6,249		
	資産の部合計	105,856	99,607	▲ 6,249	105,856	99,607	▲ 6,249	負債及び正味財産の部合計	105,856	99,607	▲ 6,249	
備考	行政費用では、指定管理者への委託料77,292千円を含む物件費が多くかかっている。その他の行政収入では、移動教室の参加者の贈費の収入があった。											

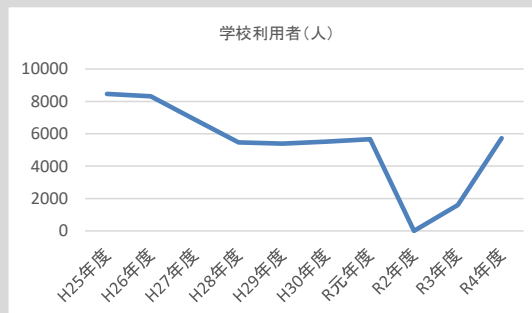
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率	89	90	90.0	90.6	
	1㎡当たりコスト(円)	32,501	19,611	26,592	32,478	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	27	36	31	24.8	
	開所1日当たりコスト(円)	500,012	617,654	499,380	676,620	
	利用者1人当たりコスト(円)	15,262	251,417	46,368	16,922	
	受益者負担比率(%)	14	2	6	13.7	
備考	令和4年度は新型コロナウイルス感染症による利用制限が緩和されたことに伴い、小学校及び中学校の移動教室は平常通り実施、一般利用においても、団体及び個人両方での利用を可能とした。そのため、利用者1人当たりコストは、令和元年度程度となっている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	一般利用者数(人)	目標値 2,700	2,014	5,943	2,524	2,450
		実績値 2,857	312	692	1,948	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○開設から40年が経過しており、計画的に施設を修繕及び設備を更新する必要がある。 ○令和3年度から指定管理者が変更となったが、これまでどおり利用者が満足できる施設運営を行う必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症の5類移行に対応しつつ、安心安全な施設運営を実施する必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○利用者が安心・快適に施設を利用できるよう、予防的な修繕を含め、優先順位を決めて、迅速に対応していく ○利用者アンケート等を通して施設利用者の意見を収集し、対応可否等を含め迅速に検討・対応していく ○設備の消毒や換気等の新型コロナウイルス感染症対策を継続する					
議会、利用者等からの意見	○平成28年度 予特 施設を活用した高地トレーニング等の提案について ○平成29年度 予特 自然体験や文化芸術の合宿等での活用について ○平成30年度 決特 冬季開設について ○令和3年度 決特 ランニング合宿について					



R4年度は、新型コロナウイルス感染症による利用制限が緩和されたことに伴い、感染拡大前の令和元年度近くまで、利用者数が回復している。



R4年度は、新型コロナウイルス感染拡大前と同様の内容で移動教室を実施できたため、令和元年度の並みの学校利用者数となっている。